

# 特別展「皇室の名宝 - 日本美の華」 アンケート集計結果

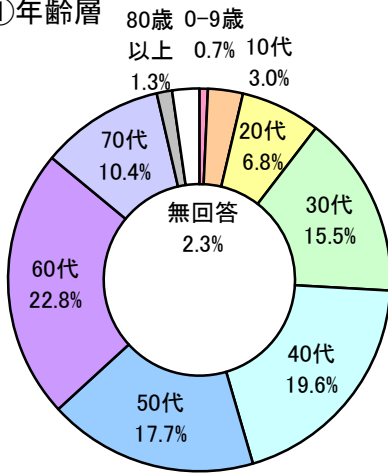
開催期間：平成21年10月6日(火)～11月29日(日)

《1期》平成21年10月6日(火)～11月3日(火・祝)

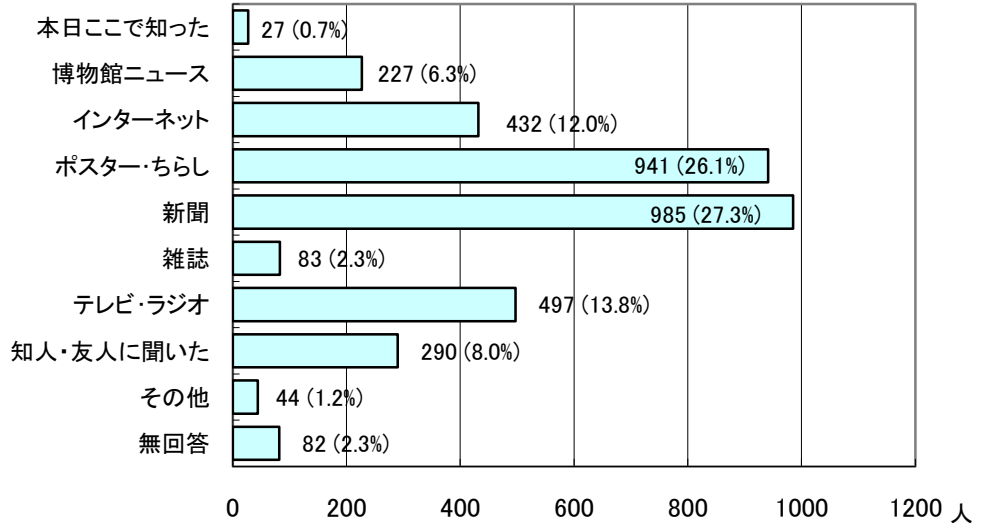
《2期》平成21年11月12日(木)～11月29日(日)

回答者数：2,236人(総入館者数：4,47,944人 アンケート回収率：0.50%)

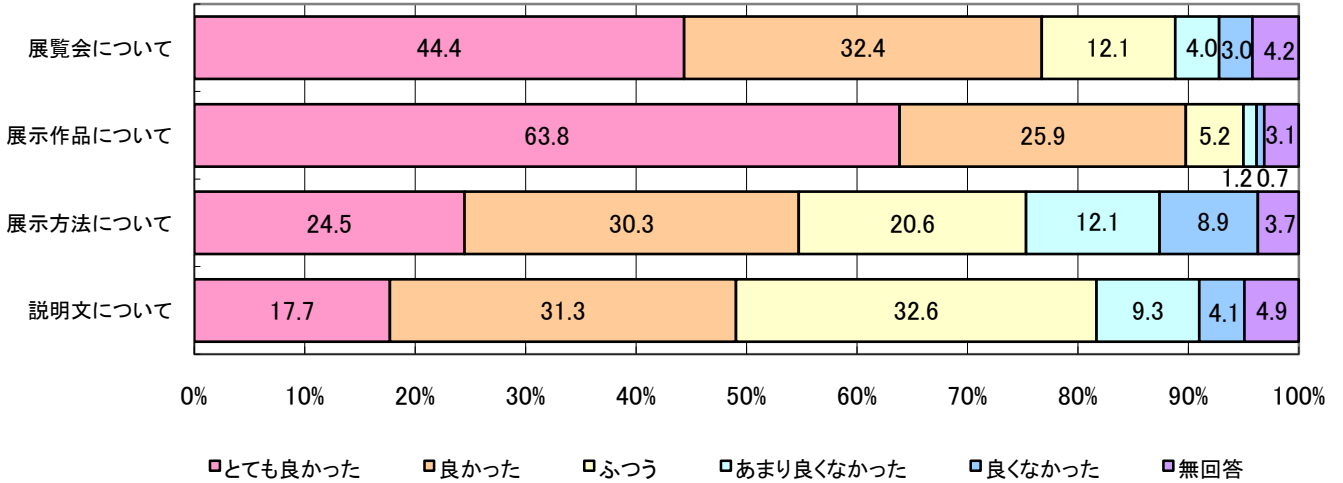
## ①年齢層



## ②認知経路(複数回答)



## ③展示に関する満足度



## ④主な意見・感想

(1期)

- ・とても良かった。素晴らしかった。感動した。見応えがあった。
- ・伊藤若冲の『動植絵』の素晴らしさに感動。30幅全て見ることができて嬉しい。
- ・混雑しすぎて人の頭しか見えない。人の流れが悪い。疲れた。

(2期)

- ・展示作品が素晴らしくとても感動した。
- ・なかなか見ることができない貴重なものを見ることができて感動した。
- ・作品の展示位置が低すぎて後方からだと見えない。もっと展示位置を高くてほしい。

本展覧会は、天皇陛下ご即位20年を記念し、御物および正倉院や三の丸尚蔵館など宮内庁が所蔵する作品の数々を1期と2期に分けて展覧しました。

1期は、狩野永徳や伊藤若冲らの代表作、横山大観、川之邊一朝らの絵画や工芸作品を展示し、2期は、東京で久々の公開となる正倉院宝物や法隆寺献納宝物、小野道風や藤原行成らの名筆、春日権現験記絵などの絵巻、天皇の書や皇室に伝わる名刀などを展示し、約45万人のお客様にご来場いただきました。

展覧会については約77%（1期のみでは約85%、2期のみでは約64%）の方々から「とても良かった」「良かった」と好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見が寄せられました。一方で「展示方法に工夫がないので作品が見えづらい。後ろからでも見える工夫を。」などの意見もいただきました。今後も、お寄せいただいたご意見・ご感想を参考に観覧環境の改善に努めてまいります。